

「児童生徒の作品集 3」

～学習成果発表～

校長 森 勝義

「楽しかったよ、二年生」

梅田 惇平

ぼくの心にのこっていることは、サッカーです。日本でかよっていた学校で、土曜日と日曜日、毎週やっていました。さいしょは、シュートやドリブルなど、うまくできませんでした。けれども、毎週友だちとれんしゅうをして、強いシュートがうてるようになりました。友だちが、「ナイスシュート!!」と言ってくれてうれしかったです。れんしゅうのおかげで、しあいでパスがいっぱいできたから、金メダルがもらえました。金メダルがもらえてうれしかったです。

「楽しかったよ、二年生」

岸 健吾

ぼくが心にのこったことは、うんどう会のダンスです。ダンスでは、「ミッキーマーチ」など、三きょくおどりました。すべて、ディズニーのきょくです。さいしょはぜんぜんできなかったけど、だんだんできるようになってきました。

うんどう会の日。ぼくはきんちょうしていましたが、友だちが、「がんばろ!」と言ってくれたので、なんだかきんちょうがぼぐれ、うまくやることができました。さいしょはうまくできなかったけど、れんしゅうしてうまくできてうれしかったです。

「楽しかったよ、二年生」

スミス シャーロット

わたしの心にのこっていることは、うんどう会です。うんどう会で、大玉ころがしをしました。男の子といっしょにころがしました。ママが、「がんばってね。」と言ってくれました。うれしかったです。さいご、赤組はまけてしまったけど、うんどう会は、楽しかったです。

「楽しかったよ、二年生」

松田 季子

わたしの心にのこっていることは、バスケットです。わたしは、アメリカに来たときすぐ、パパにバスケットボールを買ってもらいました。そして、ママとすぐにれんしゅうしたけれど、一ども入りませんでした。一時間くらいれんしゅうしても、入らなかったそのとき、ママが、「力強くなげてみて。」と言ってくれました。だから、わたしは、その方ほうで三十分れんしゅうしたら、入りました。そのときママが、「ナイスシュート。」と言ってくれました。さいしょは入らなくて五回くらい泣いたけど、さい後に入ってうれしかったです。

「楽しかったよ、二年生」

高田 夏野

わたしの心にのこったことは、リップスティックです。家のガレージで、友だちと、れんしゅうをしました。さいしょはこわかったけど、ママとパパと、友だちがいっしょにれんしゅうをてつだってくれました。それで友だちと、どうろをとおってやったらできました。友だちのリップスティックでやったら、ぶっころびました。

小学2年2組 詩

「アイスクリーム」

バンクロフト・トニー

アイスクリームはおいしい いろいろしょるいがある アイスクリームはつめたい
たくさん食べたいな

「おすなば」

北川 祐菜

休み時間に おすなばで 友だちと いっしょにおしろを作った じょうずにできて
たのしいな うれしいな

「牛肉うまい！」

櫻井 澄空

ごはんは牛肉 夕はんうまい！ おかわり、 おかわり足りないぞ！

「ラーメン」

町田 大翔

ラーメン うまい たまごとチャーシューの あいしょうがあう ラーメン
うまいやっぱり うまい ラーメン さいこう

「NBA」

長内 眞乃助

NBA のしあいを見ると せんしゅのプレーをするすがた たくさんのパフォーマンスに
ワクワクした ぼくもいつかポイントシュートを たくさん入れるせんしょになりたい

「ぼくの一週間」

安藤 輝人

月曜日は、学校。 火曜日は、学校。 水曜日も、学校。 木曜日も、学校。
金曜日も、学校。 土曜日も、学校。 日曜日は、、、 わーい、やっとお休みだー！

小学4年2組 詩

「月」 井田 大葵

どこへいったのかな お月さま
どこを見ても 星しかない
雲にかくれたと思って
空には雲が 一つもない
ああ、そうだ 今日新月
明日をまてば またでてくる

「月」 佐藤翔奏

だんだん消えて
だんだん増えた
ぼくをいつも見つめている
夜空のデスクライト

「三日月」 角谷玲衣

空の上のハンモック
ゆらゆらゆらゆら
いっしょにねよう
星をながめながら

「三日月」 堀尾杏那

夜空にうかぶ すべり台
すべってみたいの あな三日月
星にも手が とどくかな

ぼくが選んだ座右の銘は、アインシュタインの「人間の価値とは、その人が得たものではなく、その人が与えたもので測られるべきだ」です。この座右の銘は、アインシュタインという理論物理学者が残した名言です。

ぼくが座右の銘をこの名言に選んだ理由は、大谷選手が10年間で1000億円の契約をしたにも関わらず、慎ましく生活していて、能登半島地震の被災地に大金を寄付し、そして、全国小学校にグローブを3つずつ寄付したことをニュースで聞いて、そこに感動し、大谷選手は野球だけではなく人間性もすばらしいと思ったからです。ぼくも大谷選手のように、人に貢献できる人になりたいです。

ぼくが座右の銘にしたい言葉は、「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのなら、それはまだ努力とは呼べない」です。これは、元プロ野球選手の王貞治さんの言葉です。ぼくがこの言葉を選んだ理由は、自分のやる気のなさをどうにかしたいからです。前に二学期のまとめ漢字テストをした時も、自分では全部練習してわかっていたはずなのに、いくつかまちがっていました。これは僕が、全部漢字を覚えたところで終わりにしていたからです。王貞治さんの言葉通り、ぼくは報われるほどの努力をしていなかったからだと思います。本当はもっと集中してテストの練習をすべきだったのに、めんどくさがってしまいました。

ぼくは、王貞治さんの言葉を聞いて、ぼくはいつも努力と呼べるほどの努力をしていないとわかりました。そしてどんなことにも誰にも努力は必要だとわかりました。ぼくもこれからは「努力」を大切にしたいです。そして、「努力は必ず報われる。報われない努力があるのなら、それはまだ努力とは呼べない」。これを、これからの座右の銘としたいです。



ヒゲ森の言葉の森・探検



しゅんじつ ちち

春日遅遅

春の日が長く、暮れるのが遅いこと。春の日のどこかでうららかなさま。「春日」は春の太陽。

類語「春風駘蕩（はるかぜたいとう）」

**思考のスケールが小さいと、
その人自身も小さいままで
終わってしまう。**

レイ・クロック

1902年〜1984年 アメリカの実業家

人々に喜ばれるような大きなビジョンを描けば、多くの支援者に恵まれて成功者になることができるかもしれない。